



富合中学校 学校だより 第15号

令和5年6月1日（木）発行

文責 校長 林田武海

～ 笑顔があふれ 生き生きと輝く 富中生 ～



教育実習の先生と学んでいます

富合中学校では、先週の木曜日から教育実習生を3名を受け入れています。実習期間中は、学校教育に関する講話を受けたり授業を実施したりし、生徒たちとかかわりながら学校現場だからこそ学べることをたくさん積み上げられています。社会的に教員不足が叫ばれる中、3名それぞれが自分の持ち場で毎日張り切って実習されており、その一生懸命さから生徒たちもしっかり授業等に取り組んでいます。その様子を紹介します。



左写真は、吉田実習生の1年生国語“比喻”を題材とした授業です。富合中学校の卒業生でもあるということで、母校での実習に気合十分です。授業の導入では本文の前半部分だけを提示し、内容から受ける印象を生徒からうまく引き出しています。積極的に発言する生徒たちの声を活かしながら、授業がスムーズに進められていました。

右写真は、寺本実習生の2年生音楽の授業です。“オリジナルのリズムをつくる”という創作活動でしたが、ボードやワークシートに提示している音符の列をもとに手拍子でリズムを確認しながら、苦手な生徒にも丁寧にアドバイスを与えています。クラス一斉に手拍子チャレンジした際は「今までで一番良かったよ！」と笑顔でほめ、生徒たちもとても嬉しそうでした。



左写真は、小正路実習生が実習にあたっているところです。養護教諭を目指しての実習ですので、実習場所は主に保健室となります。内科検診や心臓検診、検尿などの実施にともなう業務にもかかわってもらっています。養護教諭の古閑友美先生も「とても助かってます！」とのこと。来週は保健体育（保健分野）の授業も予定されています。